

★福島県感染症発生動向調査週報 県北地域情報！★〈8月9日発表〉

・手足口病の流行が見られ、RSウイルス感染症（乳児がかかりやすい呼吸器感染症）の流行が続いています。
県北地域では、8月に入り、腸管出血性大腸菌感染症（0-26、0-157、0-145）の発症が続いています。

普段から 咳エチケット（咳・くしゃみが出る時にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむける。使用後のティッシュはすぐにふた付きのゴミ箱に捨てる。症状のある人はマスクを正しく着ける。）や、手洗い、うがいなどの感染予防対策を続けましょう。

腸管出血性大腸菌感染症について！



腸管出血性大腸菌は食中毒の原因となる細菌であり、夏季に多発しやすく、今年は県北地域でも多く発生しています。

症状

主な症状として、激しい腹痛とともに、頻回の水様便や血便の症状があります。また、重篤な合併症（溶血性尿毒症症候群や脳症）を発症することもあります。

感染経路

菌に汚染された飲食物を摂取したり、患者の便に含まれる菌が口から入ったりすることで感染します。また、菌を持っている動物に触れることによる感染もあります。

予防方法

- (1)石けんと流水で手洗いをすることを心がけましょう。
 （肉・鶏・卵を取り扱う際は取り扱う前と後に）
- (2)冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫や冷凍庫に入れましょう。
- (3)生の肉や魚を切った包丁やまな板は、洗ってから使いましょう。
- (4)肉や魚は中心部まで75度以上、1分以上の加熱が必要です。
- (5)野菜は良く洗うか、湯がきをしましょう。
- (6)菌を増やさないために料理を室温で放置しないようにしましょう。食品の冷凍や解凍を繰り返さないようにしましょう。
- (7)残った食品は清潔な皿に保存し、時間が経ち過ぎたら捨てましょう。

もし症状が出たら

下痢や腹痛、血便などの症状が出現した場合は、自己判断で下痢止め薬等を使用せず、速やかに医療機関を受診してください。感染のリレーを防ぐために、トイレや洗面所は次亜塩素酸ナトリウム消毒液で拭きとりを行い、タオルの共有は避け、入浴はシャワーのみをお勧めします。

（参考）厚生労働省ホームページ※夏休みにおける海外での感染症予防について参考にして下さい。
 → http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html



「県北地域感染症情報レター」に関する御意見、御質問等についてはメールでお問い合わせ下さい。
 県北保健福祉事務所生活衛生部医療薬事課 メールアドレス hofukunet_kenpoku@pref.fukushima.lg.jp
 （県の情報及び週報は、「福島県感染症情報」を検索してください。）